

全 員 協 議 会

令和 7 年 5 月 22 日 (木)
時 分 ~ 時 分
(本会議終了後)
全 員 協 議 会 室

〔出席議員〕

笹田議長、川神副議長
肥後議員、村木議員、大谷議員、三浦議員、沖田議員、村武議員、川上議員、
柳楽議員、串崎議員、小川議員、上野議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、
永見議員、佐々木議員、田畑議員、西田議員、牛尾議員

〔執行部〕

久保田市長、砂川副市長、岡田教育長、佐々木産業経済部長、久佐産業経済部参事

〔事務局〕 下間局長、濱見次長、森井書記

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 楽天農業株式会社について (産業経済部)
- (2) TC 浜田農場株式会社の破産手続きの開始について (産業経済部)
- (3) 浜田漁港周辺における水産事業の調査・研究結果の報告について (産業経済部)
- (4) 瀬戸ヶ島埋立地における養殖事業の事業化に向けた調査・研究に関する協定書の締結について (産業経済部)
- (5) その他

2 高校生との意見交換会のアンケート結果及び報告書について

3 石見小学校からの主権者教育に関する提案発表について

4 第 2 回議会運営委員会主催議員研修会 (議会における AI、ChatGPT 活用について) ・開催日時：6 月 17 日 (火) 13 時～16 時 30 分 会場：全員協議会室

5 その他

- (1) 自由討議について
- (2) 議案における各自の表決結果の記載について
- (3) 会派等による「政務活動費を使った行政視察」の手の流れについて
- (4) その他

楽天農業株式会社について

1 内容

- ・楽天グループ株式会社は、経営資源の選択と集中を図るため、楽天農業株式会社の全株式を「株式会社 PEACE（ピース）」へ譲渡
- ・楽天農業株式会社は令和7年4月1日から社名を「株式会社 Revege（リベジ）」と変更し、島根県内での農業事業を継続

2 社名変更後の新社名について

株式会社 Revege（リベジ）

代表者：笹原 啓

事業内容：加工向け原料生産、青果向け生産

従業員：43名

農場等：農場（島根県、山口県、静岡県）、加工場（愛媛県）

※上記については、楽天農業株式会社から全て引き継ぐ

3 新たな出資元について

株式会社 PEACE（岐阜県美濃加茂市）

代表者：伊佐治俊樹

事業内容：経営コンサルティング業

従業員：3名

年商：1億5千万円

4 その他

- ・現在、締結している楽天農業株式会社との有機野菜の産地づくりに関する連携協定については、新会社の株式会社 Revege（リベジ）に引き継がれます
- ・島根県を通じて、新会社である株式会社 Revege（リベジ）から県及び石見9市町、JAに対して4月中に営農計画を説明して頂く予定としております

TC 浜田農場株式会社の破産手続きの開始について

浜田市金城町においてトマト農場を経営されていた「TC 浜田農場株式会社」が、松江地方裁判所浜田支部から破産手続き開始決定を受けましたので、以下のとおり報告します。

1 破産手続きについて

- (1) 開始日時 令和 7 年 3 月 26 日(水) 午後 4 時
- (2) 破産管財人 みなみ法律事務所 弁護士 南 秀樹

2 これまでの経緯

- ・ H29. 4 TC 浜田農場(株) 法人設立
- ・ H30. 1 第 1 期ハウス完成 (10 棟)
- ・ H30. 6 栽培開始
- ・ H31. 2 第 2 期ハウス完成 (10 棟)
- ・ R2. 6 栽培用水を地下水から水道水に変更
- ・ R4. 7 燃油・肥料高騰対策、病気発生時のリスク分散のため、7 月定植の通年生産から 7 月 2 月定植の年 2 回生産へ変更
- ・ R7. 3. 26 破産手続開始の通知

3 今後の対応

- (1) 元谷団地営農への対応

整備した団地を入植者不在にしないため、トマト以外での営農の可能性も含め、県や関係機関と連携し、後継者探しを進めている。

- (2) 破産手続きへの対応

市の債権として以下のとおり松江地方裁判所浜田支部へ届出済み。

ア 農林振興課分 210, 337, 667 円

補助事業上の耐用年数未経過分の残存簿価に対する国庫補助金相当額

イ 産業振興課分 49, 813, 000 円

企業立地奨励金として交付した、

施設設備取得奨励金 43, 313, 000 円、雇用促進奨励金 6, 500, 000 円

※操業開始後 10 年以内に事業を休止したことによる浜田市企業立地促進条例第 6 条第 1 項第 2 号に基づく奨励金返還請求

浜田漁港周辺における水産事業の調査・研究結果の報告について

1 調査・研究に関する協定書概要

- (1)協定書：浜田漁港周辺における水産事業の調査・研究に関する協定書
- (2)相手方：マルハニチロ株式会社（東京都江東区豊洲三丁目2番20号）
- (3)期 間：令和5年4月5日から令和7年3月31日まで（2か年）
- (4)内 容：①浜田漁港周辺海域等における養殖事業（海面、陸上）に必要な環境、立地及び養殖可能な魚種等についての調査・研究
②浜田漁港発展に資する水産事業についての調査・研究
③その他必要と認める調査・研究

2 調査・研究概要

(1)海面養殖事業における調査地点

マルハニチロ(株)において以下の3地点を選定



- ST①：馬島防波堤付近
ST②：新北防波堤付近
ST③：瀬戸ヶ島港内

(2)調査スケジュールおよび内容

- 令和5年5月～7月：潮流・測量・海況調査を実施。
令和5年11月：ST①についてより広範囲の測量調査を実施。
令和5年11月～令和6年10月：通年の水質調査を実施。
令和6年2月：冬場の風、波浪の状況調査を実施。

3 調査結果

項目	結果
測量調査	<ul style="list-style-type: none">・起伏に富んだ海底地形を成しており、平坦な海底部は限られていた。・ST①の地点において潜堤の存在を確認した。・ST②の地点は港湾区域に隣接し、航路であり海上設備の敷設は不可。
潮流調査	<ul style="list-style-type: none">・調査時は0.2ノット以下の緩やかな潮の流れであったが、日本海低気圧通過時等の荒天時は波浪の影響を受けやすいことを確認した。・ST③は三方を防波堤に囲まれた港であり、上記の海況とは異なる。
海洋調査	<ul style="list-style-type: none">・溶存酸素、水質、底泥など環境面の調査を実施。事業を行うにあたり基準値を逸脱した項目は無し。・瀬戸ヶ島埋立地の地下海水についても基準値を逸脱した項目は無し。

4 研究結果（今後の課題および展望）

(1)海面事業

地点	課題および展望
ST①	<ul style="list-style-type: none">・ マグロ養殖の可能性があったことから設備の敷設図を作成したが、後に予定地付近に潜堤の存在を確認し、施設設置の障害となった。・ 現存する馬島東側沖防波堤は、養殖施設を護るためには不十分。・ 馬島東側防波堤が東に延長構築することができれば、養殖施設を敷設できるものと推察する。・ <u>現状であっても小規模な養殖施設であれば敷設可能。</u>
ST②	<ul style="list-style-type: none">・ 航路に隣接する港湾区域であることから水産事業は法令上困難。
ST③	<ul style="list-style-type: none">・ 岩石の起伏が大きく、最干潮時は海面から5m未満まで岩石が羅列するため大規模な養殖施設の敷設は厳しく、ブリ、マダイ等の大型養殖魚の事業は困難。・ <u>岩石を除去できた場合、アジ、サバ等の小型養殖事業は考えられるが、浅いがゆえに大気環境に左右される。</u>

(2)陸上事業（瀬戸ヶ島埋立地）

地点	課題および展望
瀬戸ヶ島埋立地	<ul style="list-style-type: none">・ <u>広大な土地および年間 18.5℃-19.0℃の地下海水があることは魅力的な土地である。</u> 一方で以下の二点について懸念がある。<ul style="list-style-type: none">①陸上養殖の選択魚となる「サーモン」においては海水温が高い。②かけ流し式の場合、地下海水量が不足する懸念がある。・ 外海水を用いた、トラフグ、ヒラメの養殖であれば地下海水量の懸念は解消されるが、夏季高温に備えた設備投資およびランニングコストの増加が課題となる。

5 今後について

調査研究結果より、海面養殖は小規模な養殖施設であれば可能性があり、陸上養殖は採算性の課題はあるものの広大な敷地は魅力的であるとの見解が示された。

しかしながら、本市での事業実施の判断は、マルハニチロ株が他県で進行中の陸上養殖事業の新規案件の結果を見た後となることから数年先となる見込みである。

よって、双方協議により同社との養殖事業の検討は一旦終了することとした。

終了に伴い、他の事業者との検討について同社より承諾を得ており、引き続き瀬戸ヶ島埋立地の有効活用を検討していく。

瀬戸ヶ島埋立地における養殖事業の事業化に向けた 調査・研究に関する協定書の締結について

静岡県でアトランティックサーモンの陸上養殖事業を行っている Proximar 株式会社（プロキシマー(株) 本社：横浜市）が瀬戸ヶ島埋立地での陸上養殖事業に関心を示されたため、同社と協議を行ってまいりました。その結果、瀬戸ヶ島埋立地を候補地のひとつとして決定され、事業化に向けた調査・研究を行う運びとなり、同社と協定書を締結することとなりましたので報告します。

1 協定の名称

瀬戸ヶ島埋立地における養殖事業の事業化に向けた調査・研究に関する協定書

2 協定の相手方

- (1)会社名：Proximar 株式会社
- (2)所在地：神奈川県横浜市（本社）、静岡県小山町（養殖場）
- (3)代表者：ヨアキム・ニールセン（CEO）
- (4)資本金：1,000 万円
- (5)概 略：日本で、閉鎖型循環養殖システムを用いたアトランティックサーモンの養殖事業を行うことを目的に、Proximar Seafoods AS(プロキシマーシーフード社)が、平成 27 年（2015 年）に設立される。
同社の日本法人 Proximar 株式会社がアトランティックサーモンの陸上養殖施設（最大生産能力 6,300 トン）を静岡県小山町で令和 4 年（2022 年）より操業開始。
現時点で、国内におけるサーモン養殖では最大規模。

3 調査・研究事項

- (1)瀬戸ヶ島埋立地の地盤強度等の立地環境に関すること
- (2)種苗生産施設の立地箇所に関すること
- (3)光熱水費等の生産コスト低減に関すること
- (4)浜田市の水産事業者等との協業に関すること
- (5)その他必要と認めること

4 協定書締結日

令和 7 年 5 月 22 日（木）

5 協定期間

協定書締結日から令和 8 年 3 月 31 日まで ※更新規程あり

6 想定される事業計画

- (1)施設規模：瀬戸ヶ島埋立地約 4.0 ヘクタールの活用を予定
- (2)魚種：サーモン（アトランティック又はトラウト）
- (3)生産量：当面は 3,000 トン／年を想定
- (4)生産額：30～40 億円／年を想定



7 期待される効果

- (1)瀬戸ヶ島埋立地の有効活用
- (2)年間を通じて供給可能な新たな浜田産水産物の創出
- (3)雇用の創出（30 名以上）
- (4)加工業者等地元企業との連携による地域活性化
- (5)浜田港を活用した海外輸出

8 共同で取組む主な検討事項

- (1)地質調査：養殖施設の荷重に耐えうる敷地か調査
- (2)地下海水量調査：地下海水の水量と水質の調査
- (3)種苗生産施設適地調査：真水を確保可能な適地の調査

9 今後のスケジュール（予定）

日付	内容
令和 7 年 5 月 22 日	協定書締結
令和 7 年度中	3 調査・研究事項(1)及び(2)に関する調査・研究
令和 8 年度中	立地可否について決定
(立地決定の場合) 令和 8～9 年度中	事業計画の作成

高校生との意見交換会のアンケート結果及び報告書について

1 開催日時及び開催場所

【開催日時】

令和7年3月26日（水）13時30分～15時10分

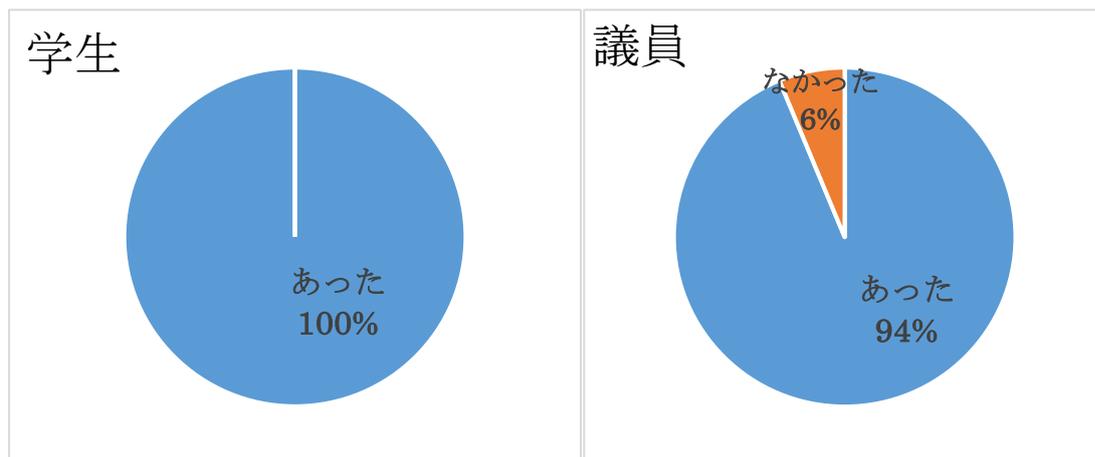
【開催場所】

浜田市まちなか交流プラザ（浜田市田町1668 浜田商工会館1階）

2 参加人数

高校生11名と議員16名。

3 気づきや発見、印象に残ったこと



内容

【高校生】

- ・思ったより話しやすくてすごく身近に感じることができました。
- ・昔はたくさん商業施設があった。
- ・浜田の議員さんを身近に感じられた。
- ・めくったカードについてほいほい自分の意見が出てきてびっくりしました。夢をしっかり持たれていていいなと思いました。
- ・新しいものを建てても次の月には人が安心してこなくなる（例えば無印がイズミにでたときとか）、イベント、学習スペースを増やすこと。
- ・浜田の魅力や改善点を知ることができた。
- ・浜田の良いところを改めて発見することができた。
- ・昔の話なども多く聞くことができた。「浜田と江津で協力しなければいけな

い」とも言っておられた。

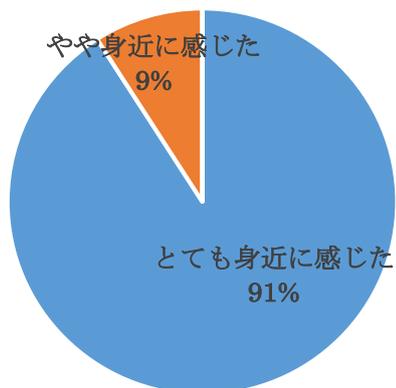
- ・ 高校生が不便だと思っていることは議員の方々もそう思っていたと知れた。
- ・ 浜田は昔よりきれいになっている。
- ・ 浜田市の文化はいろんな地域に出せる。

【議員】

- ・ 遊び場が少ないが自然も遊び場になることを伝えた。
- ・ 浜田駅のにぎわい作り。通学便確保。神楽、祭り、観光を元気に、外国から人を呼べるように。
- ・ 高校生が明るかった。
- ・ 高校生の率直な意見と考えが聞けて良かった。足りていること不足していること。
- ・ サイゼリア、学習スペース、イベントの開催努力。
- ・ 高校生が思った以上に自分の夢を持ち、浜田を愛していたこと。
- ・ 浜田の好きなどころとの問いに答えが出にくかったところ。
- ・ 私たちと違う角度で浜田市のことを考えてくれている。
- ・ 学習スペースの話。
- ・ 共通して出たのは映画館がほしいということ。交通の不便さも感じている。
- ・ 高校生が集い楽しむ場が必要。
- ・ 必要な対策。(新施設、外灯)
- ・ 書店がほしい。カフェがほしい。神楽、三魚以外にないことの寂しさ。
- ・ 高校生の店舗の必要の要望
- ・ 高校生は最初は緊張していた様子があったが、予想以上に意見を出してくれた。高校生の視点での意見を聞くことができた。しっかりしていると感じた。

4 議員を身近に感じられたか

学生

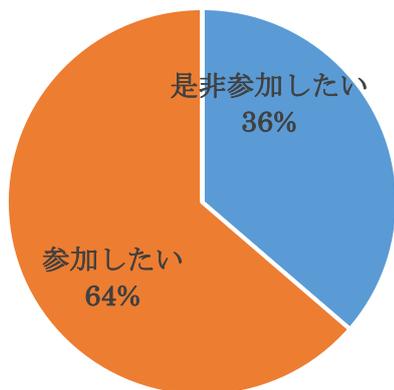


全く身近になかった、あまり身近になかったとの回答はなく、参加者全員が議員を身近に感じることができた。

- ・ すごく話しやすく身近に感じることができました。
- ・ とても優しくたくさん会話することができた。
- ・ 直接話をすることでコミュニケーションをとれたので。
- ・ 否定をしないから。
- ・ 高校生も議員さんに提案することは気軽にできるのを聞いたから。
- ・ 皆が浜田のためを思っていたり、浜田をよくしていきたいと思っていたから。
- ・ とても話しやすく共通の話題で盛り上がり楽しく会話できたため。
- ・ 意外とフランクに話してくださったので、あまり緊張することなく話せた。
- ・ 私たちがやりたいことを議員の方々がしっかり耳を傾けてくれたから。
- ・ いろんな意見を聞いたから。
- ・ 自分たちが感じていたこと伝えたとき共感してもらえてうれしかったから。

5 今後同様な会があれば参加したいか

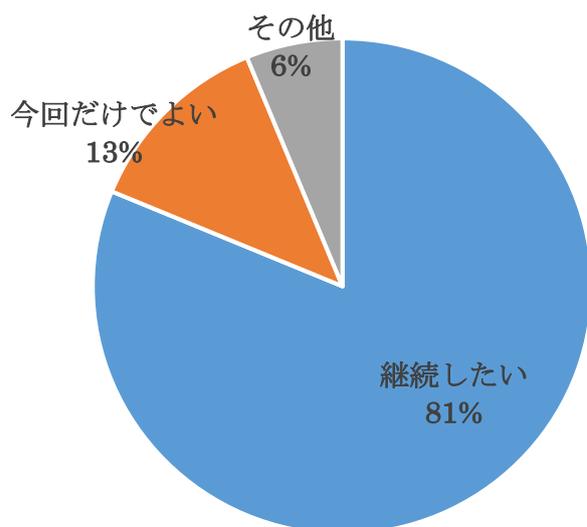
学生



全く参加したいと思わない、あまり参加したいと思わないとの回答はなく、参加者全員が参加したいと回答された。

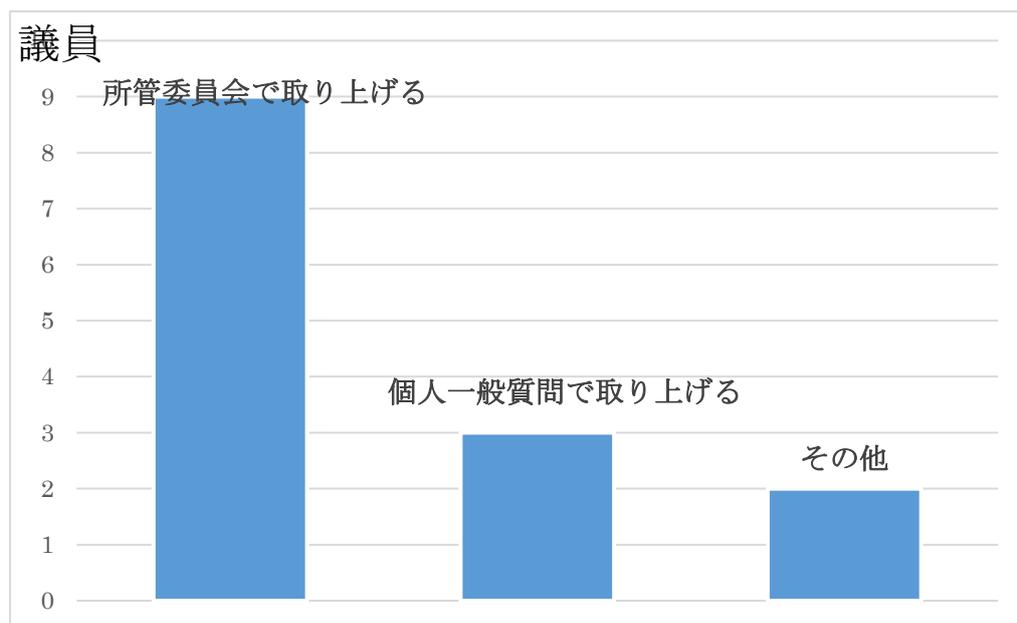
6 高校生と直接意見交換する場を継続して開催したいか

議員



その他として「分からない」との回答があった。

7 議会活動でどのように生かしたいか



所管委員会で取り上げるとの回答が9名、個人一般質問で取り上げるが3名、その他は2名となった。また、その他の内容として各々が対応する、議会活動の基底にすえたいとの意見があった。

8 主権者教育を推進するに当たってどのような取組が有効と考えるか

- ・議員の活動を知ってもらう。
- ・若い人の行政参加、政治参加に尽きる。
- ・若者の意見を吸い上げる仕組みがあると良い。
- ・このような意見交換会の回数を重ねていくことが大事だと思う。
- ・市民一日議会や陳情、請願もあるし、他にも声を形にする方法はあるように思う。
- ・このような顔が見える空間で、フランクな意見交換をすること。その中で、自分たちと「まち」の関係を考えてほしい。
- ・選挙に出る方の情報がない。
- ・市民一日議会もだけど提案制度（予算を伴う事業）
- ・継続して取り組んでも良い（内容は検討）
- ・まずは子どもの権利を知るところからがスタートかなと思います。

- ・若者との意見交換会は有効（より身近な関係を構築）
- ・にぎわいの感じられる施設を多く望む
- ・こういう高校生との意見交換会。中学や高校への出前授業と合わせて意見交換。議会見学の積極的なPR。はまだ市民一日議会への参加。

9 その他（自由記入）

内容

【高校生】

- ・とても楽しかったです。
- ・大人と話をする機会をもらい、とても楽しかった。
- ・議員の方と普段話す機会がなかったので貴重な経験をありがとうございました。
- ・とても楽しかったです。ありがとうございました。

【議員】

- ・楽しかった。ファンタスさんありがとうございました。
- ・これも広聴機能。広聴機能の体系的整理を。事後の整理。議会での共有を。
- ・年2～3回程度は意見交換していきたい。
- ・こうした機会があれば参加したい。
- ・多くが交通と遊び場、食事場、カフェなどが少ないと。
- ・1つのテーマで意見を聞きたかった。浜っ子春まつりを知らなかった。
- ・今回は初めての試みであったので、まずは議員との距離を縮めること、話ができよかったと思うだけでも良いが、今後、もっと議会について理解を深めてもらったり、浜田市の課題についての考えを深めていき、議員と一緒に、課題に取り組んでいけるようになるといいと感じた。

報告書

グループ	A	議員	芦谷英夫、上野茂、牛尾昭
出た意見	<p>(1) ほんと困ってます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浜田市にはミスタードーナツやドンキホーテ、はま寿司が無く浜田より益田が良い ・ ネコカフェもあれば良い ・ バスの便が少なすぎる、部活を早めに終わり、帰らなければならない ・ 高齢者の気持ちにもなって ・ もっと多くの人に来るように商業施設の整備や神楽など昔からあるお祭りを活用して外国人の観光客を呼び込む <p>(2) もっと〇〇な浜田にして欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浜田市内に遊ぶ所が少ない。本屋さんもなく学校が終わりブラブラする所がない ・ 映画館が欲しい。出雲や広島まで行かないと見られない ・ 選挙に出る候補者の情報が少ない。もっと若者の投票率が上がるような対策が必要だ ・ JR 列車の江津便 1 便遅れると次の便を待つまで大変 ・ 浜田おすすめの場所をわかりやすく教えて 		

グループ	B	議員	沖田真治、川神裕司、小川稔宏
出た意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一中校区には図書館やまちなか交流プラザ等、学習スペースが整備されているが、他の校区にはそのような施設がないことが課題だと思う ・ 浜田市の良いところは自然が豊か ・ 石見神楽がある ・ 石見神楽と広島神楽の違いがよくわからない ・ 将来は地域に関わる仕事に就きたいとも思うので県立大学に進学し地域学科を学びたい。 ・ 将来は海外で仕事をしてみたいと思う。 ・ 将来は海に関する職業に就きたいと思って水産高校に入学した。浜田市で暮らし学校に通い始め、考え方が変わり今は水産高校の教師を目指したいと思っている。 ・ もっとイベント等が増えて欲しい。例えばヨサコイのイベント。 ・ 三桜の跡地がイベント等を行う場所になれば良いと思う。 		

グループ	C	議員	肥後孝俊、岡本正友、佐々木豊治
出た意見	<p>(1) 議員の仕事について 「普段どのような仕事をしているのか」「会議では何を決めているのか」といった質問があり、会議で市政の重要な事柄を審議し、決定することが主な仕事であると説明。</p> <p>(2) 娯楽施設の不足 映画館 映画を気軽に楽しめる場所が欲しい。おしゃれな若者が集まれるようなカフェが不足している。3rd プレイス、いわゆる第3の居場所娯楽施設の不足が指摘された。 スポーツ施設 スポッチャのような複合スポーツ施設や、バトミントン、ボーリングなどができる場所が欲しい。</p> <p>(3) 公共交通の課題 汽车の本数不足や運賃の高さ、高校生に通学における不便さが指摘された。鉄道の路線が東西にしかなく、南北や環状線がなく駅と駅の距離が遠く駅を中心とした街づくりになっていないことが取り上げられた。 また人口減少と利用者の減少、運転手不足によるバスの便減少や公共交通機関の採算性の問題も取り上げられた。結局のところ、車がないと生活しにくいという課題も挙げられた。</p> <p>(4) 教育と就職に関する展望 商業高校における IT・ICT 教育の重要性について議論し、情報処理技術の習得が将来の就職に重要で、簿記等の資格も可能な限り取得し、将来独立して起業する際に必ず必要となる知識として役に立つとの意見があった。</p> <p>(5) ルールとマナーの重要性について 高校生からルールやマナーを守らない人がいることへの不満が出た。SNS 上での誹謗中傷や、人に迷惑をかける行為について問題提起がありました。議員からはルールは、最低限の決まりであり、その上で相手に配慮したマナーを守ることが大事だと意見が出た。SNS のルールやマナーを知らずに破っている可能性にも触れられた。また、多様性を尊重し、よそ者を排除するといった考え方をしない。多様性を振り翳して他者に刃を向けないことも大事だと指摘があった。浜田のまちは以前に比べて綺麗になってきているという肯定的な意見もあった。</p> <p>(6) 就職・結婚・将来設計 大手企業へ就職し、ノウハウや考え方を身につけて活躍してほしい。学生時代の交流から結婚する例が多いこと、生涯独身でいることのリスクについても示された。</p> <p>(7) 信頼できる相談相手 社会には騙す人もいるため、親や兄弟姉妹など、信頼できる人に相談することが大事。</p> <p>(8) 地域の魅力</p>		

	<p>海や山の自然が綺麗であるとの意見が出た。石見神楽を大切にしているという声もあった。</p> <p>(9) 商業高校の利点</p> <p>情報処理は必須のスキルで、IT 技術の習得や3D プリンターの活用、簿記の資格取得や企画立案から仕入れの仕組みを学び、浜商デパートでの販売を経験することは将来とても役に立つことを説明した。</p> <p>(10) 地元定着</p> <p>都会で経験を積んでから浜田市に戻るというキャリアパスについても議論した。</p>
--	--

グループ	D	議員	西田清久、柳楽真智子、川上幾雄
出た意見	<ul style="list-style-type: none"> ・映画館が欲しい。(複数意見) ・エンタメ、ポップカルチャーなど若者が集まれる場所があると嬉しい ・猫カフェもいいな。 ・遊べる場所が少ない。 ・若者が安くて気軽に入れる飲食店が少ない。(サイゼリアがあったらいいな) ・公共交通の運行が朝と夕方しかない。土日や長期休暇中の部活が午前中で終わっても、保護者の迎えが無ければ夕方の便まで時間を潰さなければならないので、13 時頃の便が欲しい。 ・部活動が終わって帰宅する際に、外灯が少なく暗くて怖いので外灯を増やしてほしい。(熊やサルなどが出てきそう) ・江津から通っている生徒は、列車を一本逃すと帰宅が遅くなる。 ・高齢者が横断歩道以外のところで横断しているので、ルールを守ってほしい。 ・浜田は魚釣りができるいい所だ。 ・交通が不便。 		

グループ	E	議員	永見利久、村木勝也
出た意見	<p>(1) 高校生から見たいいな浜田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールやマナーを守っている人はいるけど、公園など(特にトイレ)をきれいにしてほしい。 ・確かに自然がきれいで、もっとアピールしてもいいと思う。 ・もちろん、温泉もいいと思う。 ・公園や遊ぶところが多いとは思わない。市内に住んでいないからか、公園情報が少ない。 ・石見神楽の口上の「英訳」に携わっている。楽しい。 ・やはり、商用施設がまちなかにほしい。 <p>(2)もっと○○な浜田にしたい！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと地方から人がたくさん来てほしいけど、何をどうしたら良いのかわからない。 ・飲食店やカフェを増やしてほしい。大学があるなら、あるであろうお店が浜田には少ない。(例えば ミスド、ドンキ、ニトリ、はま寿司、ココイチ、スタバなど) ・神楽に強い興味がなく、お魚での浜田のイメージがない。浜田の自然を活かしたものを考えたい。 ・なので、掛け算は、神楽とではなく、浜田のモノと自然、神楽、体験などとの掛け算はどうですか？ ・確かに映画館がほしい。アニメイトがあつたり、猫カフェ、カービィカフェがほしい意見があるが、なかなか難しいのでは。 ・書店が無いことが、たいへん残念です。 ・イベントで盛り上がる浜田といっても、実は「夏の花火大会」しか知らない。 ・質問 将来就職先を決めるにあたって大切なこと。 		

グループ	F	議員	笹田卓、村武まゆみ、大谷学
出た意見	<p>(1)もっと〇〇な浜田にして欲しい。</p> <p>① 遊ぶところが欲しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画館、カフェ、ファストフード店、映えスポット ・駅前にランチタイムだけでなく、友人と話ができるカフェがあったらいい ・豊かな自然を使った遊び サーフィン体験、釣り体験など ・バスケットゴールがある公園があったらいい <p>② 交通について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車やバスの便数が少ない。旭在住の高校生から昼間のバスがないので、休みの時に部活での利用は不便 ・バスの運賃が高い ・西浜田駅の待合場所は、狭いし、雨天時は雨が入ってくる。もう少し待ちやすい環境にして欲しい <p>③ 防犯について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜、道路が暗い。もっと街灯を増やして欲しい <p>(2) 高校生から見たいいね浜田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食でノドグロが食べられて美味しかった ・人が優しい（都会に行った際に浜田の人の優しさを感じた） ・図書館が近くにあって便利 ・海がきれい（子どもの頃釣りをして楽しかった） ・伝統文化について、神楽は子どもの頃見た、城山に遊びに行ったことはあるが今はあまり行かない 		

石見小学校からの主権者教育に関する提案発表について

標記の件につきまして、石見小学校から以下のとおり提案発表についての依頼がありました。

1 経緯

石見小学校の 6 年生が政治に関する知識や浜田市の実情について調べもの学習をしており、その結果を議員に対して報告する場を設けることができないかとの相談があった。浜田市議会においても、主権者意識の醸成に力を入れていることもあり、依頼を引き受け実施することとした。

2 開催日時

令和 7 年 6 月 16 日（月） 9 時～11 時

3 開催場所

浜田市役所 5 階 本会議場

4 参加者

議員：全議員

児童：石見小学校 6 年生（2 クラス計 61 名）（教員 2 名随行）

5 実施内容

- (1) 小学生が事前学習で学んだ政治に関する知識や浜田市の実情などから考えたことをスライドにまとめグループ毎に提案を行う。
- (2) 児童の提案を受け議員から感想等を述べる。

※議場には 1 クラス（約 30 人）ごとに入室し執行部側に着席する。

もう 1 クラスは提案を 20 分程度傍聴後に全員協議会室へ移動し、「議会のおはなし（子ども向け）」資料を活用し、事務局職員から議会について説明を行う。

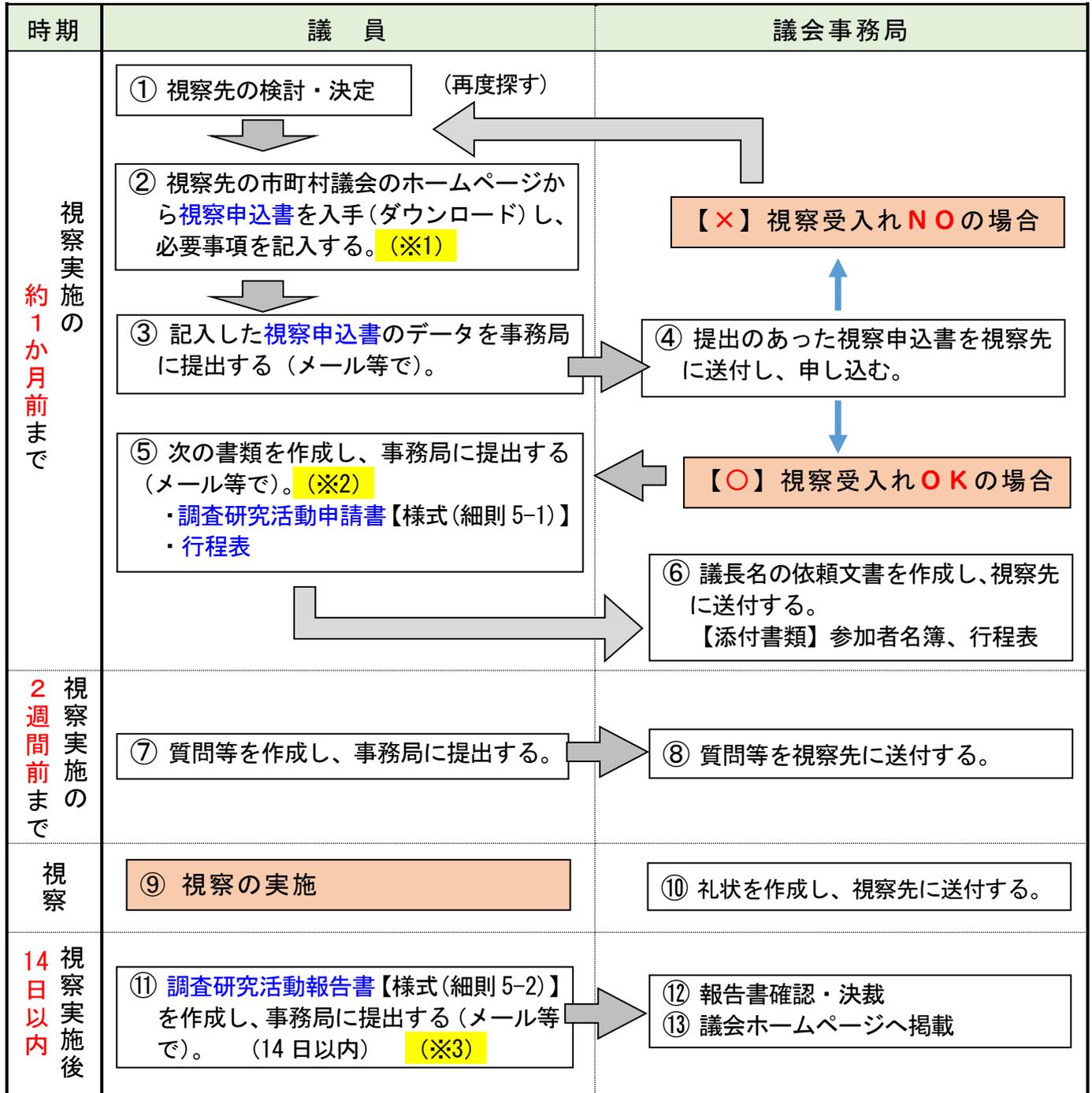
第 2 回浜田市議会議員研修会について

- 1 目 的 全議員で受講することで、新しい技術を活用した議会運営、
活発な議員活動に発展することをねらい、浜田市議会にお
ける議会改革がより一層進むこと、それぞれの議員力を向
上させることを目的とする。
- 2 日 時 令和 7 年 6 月 17 日（火）午後 1 時～4 時 30 分（予定）
- 3 場 所 浜田市役所 5 階 全員協議会室（浜田市殿町 1）
- 4 実施内容 地方議会を変革する生成 AI 活用研修会
～地方議員がゼロから始める ChatGPT
 - ・生成 AI、ChatGPT とは
 - ・生成 AI、ChatGPT 活用時の注意点
 - ・議会における活用事例
- 5 主 催 議会運営委員会
（協力）議会改革推進特別委員会
- 6 講 師 早稲田大学デモクラシー創造研究所
西川 裕也 氏 、青木 佑一 氏
- 7 費 用 講師謝金

会派等による「政務活動費を使用した行政視察」の手続の流れ

会派等で行政視察を実施する際の「議員」と「議会事務局」それぞれが行う事務手続（役割分担）について整理しました。

なお、行政機関以外の団体への視察（民間団体への視察）については、議会事務局を通す必要はありませんので、各自で直接手続をお願いします。



(※1) 各市町村議会において視察申込書等の様式を定めており、WordやExcelでホームページに掲載されていますので、ダウンロードし、利用してください。

市町村議会によっては、視察受入れ不可の期間（議会開会中など）や申込期限（例：○か月前までに申込み）を設定している場合があるので、注意してください。

(※2) 複数人で視察を実施される場合は、代表の議員1人が作成し、提出してください。「行程表」は、移動日も含めた全行程を記載してください。

(※3) 視察に参加された議員全員がそれぞれ作成し、提出してください。

各種議長会関係の報告について

1. 春季島根県市議会議長会（大田市）

◆令和7年4月4日（金）

①令和6年度事務報告・決算報告、令和7年度事業計画・収支予算について →全て承認

②令和7年度の会長は、大田市議会議長。浜田市は、役なし。

③中国市議会議長会定期総会へ提出する議案3件について決定。

順位1位 少子化対策について（江津市）

順位2位 地域公共交通の維持・確保について（益田市）

順位3位 地方創生の実現について（安来市）

2. 石見四市議会議長会（春季）（益田市）

◆令和7年4月17日（木）

・会長は益田市議会議長

(1) 地域公共交通について

①JRについて

（各市における課題、課題解決に向けた取組、今後のJRにおける市の考え方）

②バス（路線バス、市運行バス、乗り合いタクシー等）について

（各市における課題、課題解決に向けた取組、路線維持、確保、利便性向上に向けた取組）

(2) 石見四市議会議長会としての今後の取組

要望活動の実施等・・・次回へ持ち越し

※次回は11月に大田市で秋季を開催（大田市議会議長が会長）

3. 中国市議会議長会理事会・定期総会（呉市）

◆令和7年4月23日（水）

①事務報告、各支部から提案のあった15議案、会長提出の2議案について →全て承認

②令和7年度の会長は、呉市議会議長。浜田市は、役なし。

③全国市議会議長会定期総会へ提出する議案3件について決定

1. 水道施設の耐震化等に関する支援について（岡山支部提出：浅口市）

2. 訪問介護の基本報酬引下げの早急な見直し等を求めることについて
（山口支部提出：岩国市）

3. 有機フッ素化合物（PFAS）対策に関する要望について（広島支部提出：福山市）

【予備議案】

「公共施設等適正管理推進事業債」「脱炭素化推進事業債」「緊急防災・減災事業債」

「緊急自然災害防止対策事業債」の事業期間の延長、恒久化について

（鳥取支部：倉吉市）

④令和7年度の対象表彰者：永見利久（議員特別表彰：12年以上）

笹田 卓（正副議長普通表彰：3年以上）

※表彰状等の贈呈は、6月9日の全員協議会で実施予定